

# 岡山大学新聞

公認団体  
岡山大学新聞会  
岡山市津島中2-1-1  
岡山大学学友会内

100円

本号6ページ

- (四面) スポーツ 中国大学競技大会ほか
- (五面) 全学ソフト大会 書評『つづて』
- (六面) ニュース 教養部ストほか

## もう無関心では済まされぬ 北津寮の入寮募集停止は 岡大生全員への戦宣告だ!



岡大・京大・阪大、この三つの国立大学に共通するものは何か——岡大新聞流の答えは「寮が自治寮であり、かつ大学側が廃寮を決定して反対運動が起きているところ」となる。大阪大は七五年度から入寮募集が停止され、寮生側が自主募集で対抗している。京大は三年後の廃寮が決定したものの募集に関しては手を付けていない。そして岡大では北津寮が来年度から入寮募集停止で三年後に廃寮ということになっている。

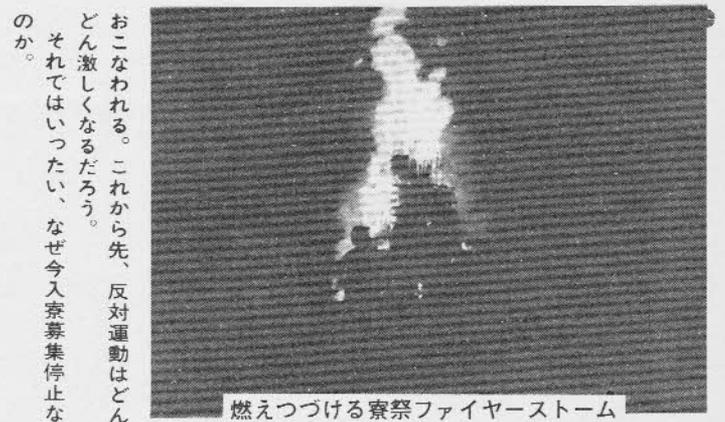
もう話は知っていると思うのだけれども岡大当局は十一月二十四日の評議会で次の通り決議した。

- 1 昭和58年度以降の現男子寮の入寮募集を停止する。
- 2 昭和58年4月以降、現男子寮の炊婦の配置換を行なう。

まず1は四月から寮に新生を入れず、II部や医・歯をのぞく今のほとんどの一年生が卒業する三年後に北津寮をつぶすぞ、ということなのだ(新規寮寮とは?あとで説明します)。そして2は現在寮の食堂で働いている炊婦さんに寮食堂以外の仕事をしてもらおう、つまり食堂はもう営業しないと宣言しているわけ。現実には百五十人もの人間が住んでいて、入寮希望者が毎年募集定員(約四十人)の三倍から押しつけてくる北津寮を、入寮募集停止にしてさらに食堂まで閉鎖してしまうというこの決議はあまりにもヒドイ。おまけに十二月に寮が出した「条件付新寮建設に合意する」という方針も大学側は認めず、話し合いにも応じていない。

もちろん寮生は猛反発だ。入寮募集停止には自主募集をおこなうと宣言しているし、寮の呼びかけて新聞会、学友会、共済会などいくつかのクラス、サークル、学生団体で入寮募集停止に反対する決議があり、二月三日には教養部で十数年ぶりというストライキが

「僕たちは入寮募集停止などんかに屈しない、自主募集でも何でもやって北津寮を守りぬく」  
北津寮運営委員長へのインタビュー (三面)



燃えつづける寮寮ファイヤーストーム

おこなわれる。これから先、反対運動はどんな激しくなるだろう。

それではいったい、なぜ今入寮募集停止なのか。

入寮募集停止というのは廃寮化プロセスの中でも最終段階に近い強行策である。寮に入りたい、寮でなければ生活できないような学生を来年から切り捨ててしまおうわけだから社会的にも問題があるし、なにより寮と当局との関係を決定的な対立へと向けてしまう。

多くの場合——北津寮も——入寮募集停止となっても寮は独自に自主募集をおこなうところ。ところが北津寮は自主募集で入寮募集停止となつてしまった。彼ら寮生を「不正規入寮者」と決めつけ、彼らを寮から追い出そうとするし、交渉にも応じない、といった態度をとるのだ。大阪大学では「不正規入寮者」には学生証を発行しない、という処置までおこなわれた。

それだけに、これまでわりと問題を話し合いつつ解決してきた岡大当局があえて入寮募集停止という手段に踏み切ったのに驚かされるし、その話じたいあまりにも唐突に出てきた。八十年五月に評議会が負担区分の正常化、

つまりそれまで寮と当局とが話し合っていて、寮の水光熱費を一部だけ大学が出していたのを寮生負担にしようということ、と建物の老朽化を理由に、男女子寮の廃寮を決定し、それにもとづいて一昨年、新女子寮が建てられても、北津寮廃寮、新男子寮建設の具体的な話はまったく出ていなかった。

北津寮としては、新男子寮の話は八三年以降になると判断していたようだし、その場合も、新女子寮建設の時のように寮生の反対を押し切っても建物を先に作ってしまうのだろう、と見ていたらしい。実際に昨年六月の学生部長交渉で寮は評議会に向けて、新男子寮の概算請求は各生との合意のうえでおこなうように、との要求をしている。

それが一転して、大学側の条件で新寮を建設するか、さもなければ廃寮であると大学側から出してくるのが十月十三日の学生部長交渉である。この大学側の条件というのは新女子寮の条件とほぼ等しい。全寮個室・負担区分は適宜とあり、というもので北津寮が基本的に反対してきた条件なのだ。

大学側はここで新寮建設が廃寮かの二者択一を寮生に迫ったわけだが、まだ廃寮とは具体的にどのようなのかわかっていない。米年度からの北津寮入寮募集停止、という具体的な案が大学側から示されたのはやっと十月二十八日になってのことである。評議会決議が十一月二十四日だから一カ月もなかつたわけだ。しかもこの部長交渉の直後に寮内最大行事である四日間の寮祭りがひかえていたし、大学祭もあったというわけで、この間寮生はほとんど動けなかった。

十一月十一日には最後の学生部長交渉もたれたけれども寮も当局も態度を硬化させていて、条件付き新寮の建設には合意できないとする北津寮と、条件付き新寮か廃寮のどちらかしか有りえないとする当局側の主張は平行線をたどったまま話はずっと進展せず結局六時間後にドクターストップがかかって交渉は打ち切り。田中先生部長はそのまま入院してしまい、二十四日の決議となった。



(三面)